

「駅と電車のマナーアンケート調査」を実施中 『駅と電車内の迷惑行為ランキング（2020年度）』ポスターも掲出

日本民営鉄道協会では、10月1日（金）から11月30日（火）までの期間、ホームページ上で「駅と電車のマナーアンケート調査（2021年度）」を実施している。駅と電車のマナー向上を目的に毎年実施しているもので、新型コロナウイルス感染症の影響が続く今年度も昨年度に引き続き、感染症対策の観点から気になる電車利用時の行動についても調査を行う内容となっている。アンケート結果は12月下旬にホームページで発表する。

また、同アンケートの実施期間中、昨年度のアンケート結果をデザイン化した『駅と電車内の迷惑行為ランキング（2020年度）』ポスターを、加盟各社の駅構内・列車内で掲出している。マナーの向上を目的とした啓発ポスターの掲出とマナーアンケート調査を同時に行うことで、マナーに対する関心を一層高めることを目指している。



「駅と電車のマナーアンケート調査（2021年度）」への回答は、こちらのQRコードを読み込んでください



『駅と電車内の迷惑行為ランキング（2020年度）』駅貼りポスター



「地方民鉄フォトコンテスト2021」 開催中！地方民鉄の魅力をTwitterで大募集！

日本民営鉄道協会では、協会に加盟する地方民鉄56社の利用促進・活性化を目的に「地方民鉄フォトコンテスト2021」を実施している。

作品の応募は、公式Twitter (@mintetsu_photo) をフォローし、3つのハッシュタグをつけて投稿するだけ。募集する写真のテーマは、沿線風景や駅舎、車両など地方民鉄に関する「鉄道のある風景」と、小学生以下の子どもたちが応募できる「民鉄キッズ」の2つで、募集期間は2022年1月23日（日）までとなっている。テーマごとに賞を設けており、優秀な作品には旅行券5万円分（応募テーマ：鉄道のある風景）などの賞品を用意している。

参加方法など詳細は、日本民営鉄道協会ホームページ内の特設ページ (<https://www.mintetsuphoto.jp/>) へ。



「地方民鉄フォトコンテスト」ポスター

日本民営鉄道協会 新会長就任

日本民営鉄道協会は2021年6月4日（金）に開催した第304回理事会において、新会長に野本弘文東急電鉄株式会社取締役会長を選任した。



鉄道事業の公共的使命を自覚し、安全・安心で、快適・便利な民営鉄道の持続的発展を目指す

一般社団法人 日本民営鉄道協会 会長

の もと ひろ ふみ
野本 弘文

(東急電鉄株式会社 取締役会長)

このたび、日本民営鉄道協会の会長に選任された東急電鉄の野本でございます。

これからの二年間、会員各社とともに、民営鉄道事業を取り巻く諸課題に積極的に取り組み、鉄道のもつ公共的な使命にしっかりと応えていけるよう協会運営にあたってまいっている所存ですので、これまでと変わらぬご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年より国内でも感染拡大している、新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種の普及など、感染防止と社会経済活動の両立に向けた兆しが見えつつあるものの、本年4月下旬以降、一部の都道府県において緊急事態宣言が発令されるなど、いまだ収束の目途が立たない状況であります。

そのような情勢の中、鉄道事業は公共交通として国民生活や経済活動を支える重要なインフラとして、社会機能維持のため、終始事業継続が求められてまいりました。

また、感染防止のためのガイドラインに沿って、車内換気や消毒などの業務継続に向けた体制の整備、マスク着用や控えめな会話などの各種感染防止対策の利用者への呼び掛け、情報提供を行い、さらには、終電繰り上げや減便などの要請にも対応して、安全で安心感のある鉄道を目指し、国民の皆さまの期待に応えるよう努めてまいりました。

しかしながら、感染防止するためには、人と人との接触を極力減らすことが重要だということで、人の動きや流れが止まり、鉄道をご利用のお客さまは大きく減少しております。各社の経営状況を見ますと、昨年度決算では大きな損失を計上しており、今

年度も厳しい見通しであることを含め、まさに未曾有の危機に直面しているところであります。

さらに、このコロナ禍を契機として、人々のライフスタイル、ワークスタイル、そして消費行動は大きく変化しています。鉄道需要は、コロナ禍が収束した後も、以前のように戻らないことが想定されます。すでに各社において色々と取り組みを進めているところではありますが、急速に進展するデジタル化にもしっかりと対応し、人々の行動様式の変化を的確に捉え、事業の効率化を進めるとともに、新たな価値を創出していくことが、これまで以上に重要なものと思えます。

また、従前からの課題である人口減少と高齢化、気候変動に伴う大規模な自然災害への対策はもちろんです、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた対応など、ESGへの取り組みについても、高度な対応を求められるものと考えております。

そのような中で、会長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いです。鉄道に期待される公共的使命の重さを自覚しながら、これからも、より安全・安心で、快適・便利な民営鉄道の持続的発展を目指し、会員各社をはじめ関係者の皆さまの一層のご理解とご協力をいただけるよう、新型コロナウイルス感染症対策を始めさまざまな課題に緊張感をもって、日夜取り組んでまいっている所存です。

皆さまには、私どものこのような取り組みに対し、引き続きこれまでと変わらぬご理解、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

(定時総会終了後の挨拶より)